

プレス公表（運転保守状況）

2020年2月13日

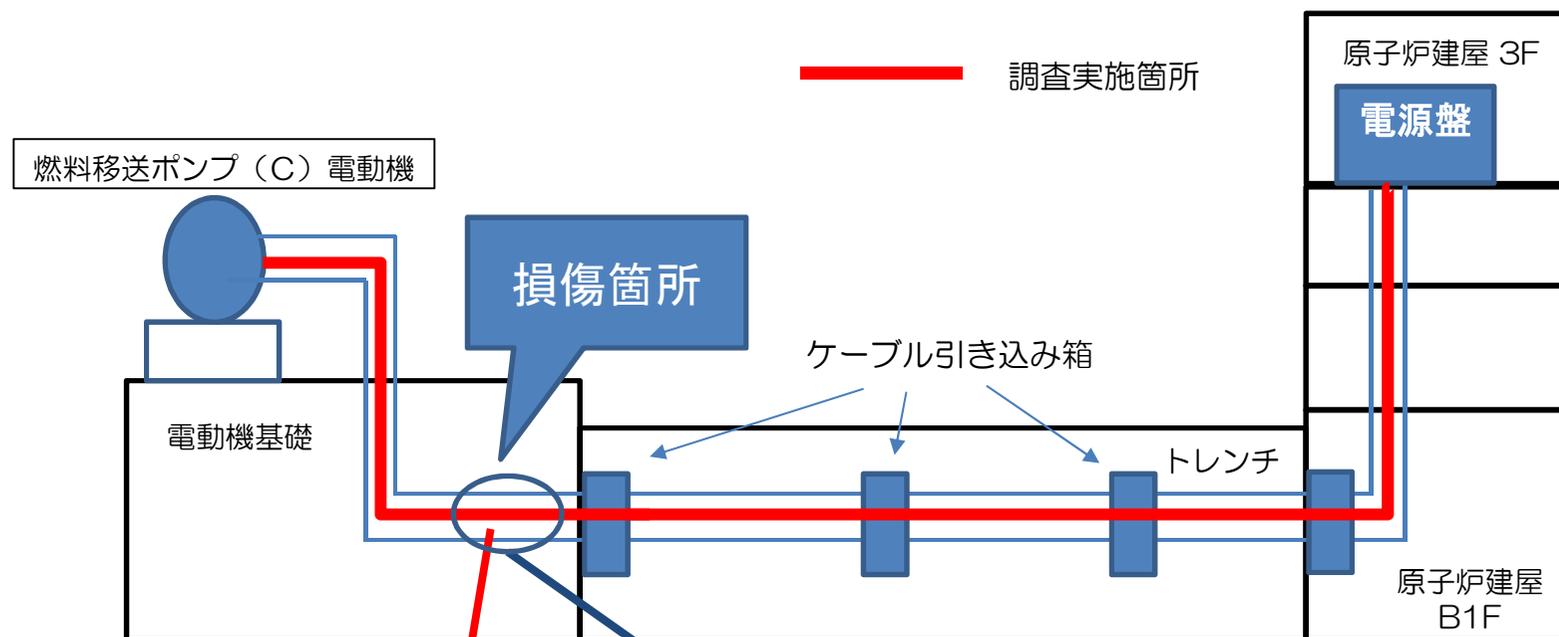
No.	お知らせ日	号機	件名	内容
①	2019年 11月15日 12月12日 2020年 1月23日	7号機	原子炉建屋東側エリア（屋外）における油漏れについて（区分：Ⅲ）	<p>【事象の発生】 2019年11月15日午前9時10分頃、7号機原子炉建屋東側エリア（屋外）において、発電機への給油をしていたタンクローリーの給油ホース付け根部より、軽油が漏れている（漏れ量は1リットル程度）との連絡を協力企業より受けました。そのため、公設消防に一般回線にて情報提供しております。 午前10時50分、公設消防による現場確認の結果、本件は給油をしていた企業が所有する移動タンク貯蔵所※（タンクローリー）からの漏れに該当すると判断されました。</p> <p>※移動タンク貯蔵所：車両に固定されたタンクで危険物を貯蔵、取り扱う施設で、一般的にはタンクローリーと呼ばれている。</p> <p>（安全性、外部への影響） 漏れた油には放射性物質は含まれておらず、外部への放射能の影響はありません。 また、漏れた油は作業エリアでとどまっており環境への影響はありません。</p> <p>【原因】 本事象については、給油会社が修理工場にて給油ホースの交換を依頼した際、給油ホース付け根部のナットの締め付けが不十分であったことが原因と推定しております。</p> <p>【再発防止対策】 給油会社が修理工場に給油ホースの交換等の修理を依頼して、修理したタンクローリーの引き渡しを受ける際に、給油ホース付け根部等のナットの状態が従前どおり十分に締め付けられていることをその場で確認します。 また、当社および協力企業は発電所構内でタンクローリーから給油を受ける際、給油作業前に過去に発生した給油時の油漏れに関する事例を給油会社に周知し、再発防止に対する意識の定着に努めます。</p> <p style="text-align: right;">（2020年1月23日までにお知らせ済み）</p>

プレス公表（運転保守状況）

2020年2月13日

No.	お知らせ日	号機	件名	内容
②	2020年 1月17日 1月23日	7号機	非常用ディーゼル発電機（C）燃料 移送ポンプ（屋外）のケーブル損傷 の可能性について（区分：その他）	<p>【事象の発生】 2020年1月17日、定期点検のために不待機としていた7号機非常用ディーゼル発電機（C）の燃料移送ポンプ※1（屋外）を点検していたところ、ポンプに電気を供給するケーブルの絶縁不良が確認され、ケーブルが損傷している可能性があることが分かりました。</p> <p>なお、7号機の他の非常用ディーゼル発電機（A、B）が待機中のため、保安規定に基づく機能要求（プラント停止中は3台のうち2台が動作可能）は満足しています。</p> <p>※1 非常用ディーゼル発電機燃料移送ポンプ 非常用ディーゼル発電機の燃料である軽油を、屋外の軽油タンクから原子炉建屋内の軽油タンクへ移送するためのポンプ</p> <p style="text-align: right;">（2020年1月23日までにお知らせ済み）</p> <p>【原因】 電線管の調査をした結果、ケーブル損傷箇所上部の電線管に損傷を確認しました。なお、当該箇所以外に損傷箇所はありませんでした。 直接的な原因は、2019年6月に竜巻対策として燃料移送ポンプエリア屋根設置工事を実施していた際※2に、コンクリート内支障物確認のための削孔作業により電線管並びにケーブルを損傷させたものと推定しています。 ケーブルを損傷させた後、当該箇所は電線管内の結露により絶縁抵抗が下がることがありましたが、定例試験により燃料移送機能が維持されていたことを確認していました。 上記の結露が発生する状況に加えて、2020年1月以降の竜巻対策工事による電線管の振動により、ケーブル損傷箇所と電線管が近接し、絶縁不良に至ったものと推定しています。</p> <p>※2 7号機軽油タンク燃料移送ポンプ（A）電線管の損傷事象（2019年6月4日発生・同年6月10日HP掲載）と同日に近接する当該箇所を削孔。</p> <p>【対策】 削孔作業中および削孔作業後はファイバースコープ等により孔内状況確認を確実に実施します。 なお、2019年6月以降の屋外での埋設物近傍削孔作業においては、ウォータージェットによる削孔を採用し、埋設物を損傷させない工法としております。 また、損傷したケーブルについては、全て引き直しを行います。</p>
③	2020年 1月31日	7号機	中央制御室（非管理区域）におけるけが人の発生について（区分：Ⅲ）	—

<参考資料> ケーブル損傷箇所のイメージ図



ケーブル損傷の状況



電線管損傷の状況